

石川県立自然史資料館の平成28年度管理状況

様式 1

施設所管課	教育委員会生涯学習課
施設管理者	特定非営利活動法人 石川県自然史センター 理事長 古池 博
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日
中期経営目標 (H26～H28)	<p>①入館者数を3年間で15%増加させます。</p> <p>②出前講座に加え、新たに館外展示を実施することにより、館外事業の参加者数を3年間で80%増加させます。</p> <p>③利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。</p>

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の打合せや全体会議（月1回）で開催イベント等の共通理解をはかり接遇向上に努めている。 ・利用者アンケートの実施（152通） ・アンケートの意見を生かし、より見やすい展示、わかりやすいチラシ等の作成に努めている。 <p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及講座「ミクロの化石をみつけよう」など、イベント「バックヤードツアー」、自然史講演会「大地の結晶のふしぎ」など、23回実施（参加人数711人） ・企画展「日本海の生きものと環境－鯨・魚・蟹・海老・烏賊・貝ほか－」「地中に咲いた結晶～北川隆司鉱物コレクション～」 「セリ科のなかま」 の開催（参加人数6,959人） ・ミニ展示「鉱物展」など3回 ・「ダイオウイカ」の常設展示
② 広報活動	<p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへの掲載 ・広報誌への情報提供、報道機関への資料提供 ・学校・公民館等施設を直接訪問し団体向けプログラム（1,000部作成）によるPR（のべ7箇所） ・講座・イベント年間予定表（13,000部） ・ニュースレター（年2回A4二つ折り各5,000部） ・施設紹介リーフレット（5,000枚：在庫配布中） ・企画展2回のポスターやチラシ（ポスター各500枚・チラシ第21回：11,000枚、第22回：11,000枚） ・自然史講演会チラシ（2,000部） ・館内ミニ展示を実施 各領域が展示期間2～3ヶ月で展示 「鉱物展」「秋の野山の植物観察」 「水生昆虫のくらし」

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H24年度 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	前年度比	H28年度 (目標値)
(1) 利用者数	6,132人	5,929人	5,167人	7,468人	144.5%	7,000人
(2) 利用者アンケート における満足度						
利用者サービス	96.9%	99.3%	100.0%	95.8%	△4.2% [※]	95.0%
施設の維持管理	97.0%	98.7%	98.3%	95.5%	△2.8% [※]	95.0%

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る対前年度増減理由>

指標	対前年度増減理由
利用者数	ダイオウイカの展示が、入館者増につながった。

<利用者アンケート結果（通年実施 有効回答数152件）>

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	79.8%	16.0%	2.1%	2.1%
施設の維持管理	75.4%	20.1%	2.2%	2.2%

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	日常清掃：週2回 定期清掃：年3回 硝子清掃：年2回 産業廃棄物処理：月2回
(2) 設備保守点検	自家用電気工作物保安：（月1回、絶縁試験など年1回） 消防用設備保守点検：年2回 昇降機保守点検：年2回 空調保守点検：年2回 衛生管理（受水槽など）：年1回
(3) 植栽維持管理	年2回の一斉除草
(4) 警備	施設全体の警備及び駐車場の管理（毎日） 防犯警備（夜間は機械警備）
(5) 小規模修繕	屋内消火栓ホース取り替え

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・危機管理マニュアルの策定 ・消防訓練の実施（年2回実施：8月、3月）
(2) 個人情報の管理状況	基本協定に基づき適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当無し	0	0	
合計	0	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
該当無し	0	0	
合計	0	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収入		支出	
指定管理料	42,852	人件費	25,615
利用料収入	0	光熱水費	6,067
その他	0	修繕費	637
		その他	10,534
合計 ①	42,852	合計 ②	42,853
収支差額 ①-②	△ 1		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
平成28年8月	政策過程の写真の説明が、遠くて読めなかった。	文字サイズを大きくして見やすくした。
平成28年7月	ダイオウイカのコーナーの場所がわかりにくいので、案内板が必要である。	1階に案内板を設置してあるが、コーナーがある2階にも設置した。
平成28年7月	車いすがあるとよい。	車椅子は配備している。目につきやすい場所へと置き場所を変更した。

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
該当無し		

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> 各種講座や企画展について、ホームページへの掲載や近隣市町や学校、公民館等への訪問で広報活動を行っている。 また、館外展示にも積極的に取り組み、幅広く広報活動に努めている。 展示が好評で、入館者増となったが、入館者を持続して確保していくため、今後も企画展や普及講座の充実が必要である。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> 施設内は常に清潔に保たれているほか、修繕等については、利用者の安全や利便性を考え迅速に対応するなど適切に管理が行われている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> 非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。 個人情報については職員に周知徹底が図られており、適切な情報管理が行われている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書等に基づき適切な管理運営を行うとともに、魅力のある展示など利用者満足度の高いサービスの提供に積極的である。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

--